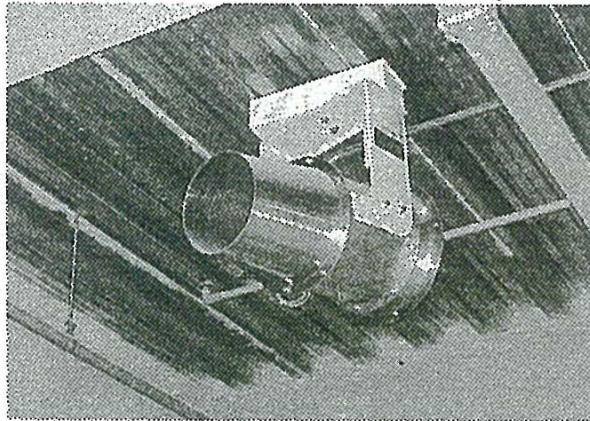


次世代暑熱対策システム

大冷工業

今夏の酷暑で
引き合い急増



「生産追い
つかず」 トヨタ系中心に採用増

大冷工業(名古屋市中区、TEL052・931・89

65)が今春からダイカスト向け本格販売に乗り出した次世代暑熱対策システム「クールジェットシステム」の納入がトヨタ系大手部品各社をはじめ好調だ。

寒い時期
から提案

熱中症がでるなど

今夏の酷暑で引き合いが増加。「生産が追いつかない」事態になった。「設備投資抑制のなかでこんな一気にオフアアがくるとは」と同社営業も驚きを隠さない。「暑熱対策という夏の時期に引き合いが集中するため、同社は「暑くなる前に(ユーザーに)検討してもらえよう」と寒い時期から提案している」と(綿内輝彦氏・環境開発部)と今夏の教訓

を活かす考えだ。来期は50セットの販売を見込む。

「クールジェットシステム」は体感温度が5℃下がる従来の一般空調に比べ初期設備投資やランニングコスト、CO2がそれぞれ約80%削減できる超省エネを実現。あわせて静電気の発生低減と工場内空気の浄化という相乗効果も実現できる。

従来にない環境改善システムとして、他社に先駆けデンソーではダイカストラインがある西尾工場(愛

知)と安城工場(同)で採用を推進。今夏には既存ユーザーへの納入以外に豊田自動織機をはじめ新規ユーザーからも引き合いが急増、生産が追いつかず、なかには断らざるを得ないこともあったという。

同システムは従来の空調機を使わず、気化式涼風装置で冷風をつくり、この冷風を小型軸流送風機「誘引SEファン」(写真)で大きな空気の流れをつくり工場の隅々まで搬送する仕組み。